

環境報告書 2015

Environment Report



『人と技術』を活かし、常に社会から必要とされる集団を目指すと共に、豊かな環境作りに貢献します。



昨年4月、当社はOSJBホールディングスのグループ企業として、新たなスタートを切りました。グループの中核として、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

当社は、ステークホルダーの皆様の期待に応えるため、常に『品質を確保し、よいものを、安全に、より安く、より早く完成させる』という気持ちを持ち、社員一丸となり事業に取り組んでおります。

よいものを作って初めて社会に貢献でき、認められ続けることで存在価値のある会社になります。

しかし、よいものを作るだけでは、社会に認められる集団にはなり得ません。当社では社会から必要とされる企業となるために、社会的ニーズである環境への取り組みにも力を注いでおります。

本報告書を通じて、私達の環境への取り組みを理解していただくとともに、皆様からの声を聞かせていただける機会になればと思っております。

企業価値を生み出す源泉である『人と技術』を大切にしながら、これからも、ステークホルダーの皆様方への感謝の気持ちと謙虚さを忘れずに事業に邁進してまいりますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

オリエンタル白石株式会社
代表取締役社長

井岡 隆雄

目次・会社概要

目次

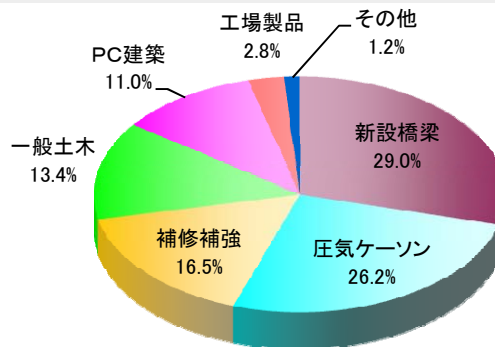
社長挨拶	1	廃棄物排出量と低減対策	8
目次・会社概要	2	環境に配慮した技術開発と施工事例	9
環境経営	3	品質マネジメントシステムと	10
環境目標	4	労働安全衛生への取り組み	
環境マネジメントシステム	5	地域との環境コミュニケーション	11
法令の遵守	6		
事業活動とマテリアルフロー	7		

会社概要

社名	オリエンタル白石 株式会社
本社所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
代表者	代表取締役社長 井岡 隆雄
創業	1952年10月21日
資本金	5億円
従業員	619人(2015年3月31日現在)
事業所	本社、東北支店、東京支店、大阪支店、福岡支店 技術研究所、名古屋営業支店、広島営業支店 28営業所、3工場、5機材センター
事業内容	プレストレストコンクリートの建設工事および製造販売 ニューマチックケーソンの建設工事 補修補強の建設工事 耐震補強建築工事の設計・施工 建設資材の販売 太陽光による発電事業及びその管理・運営並びに電気の供給、販売

売上構成

2014年4月1日～2015年3月31日(第64期事業年度)



作成及び発行について

発行目的	社内外の皆様に、当社の環境関連情報等を開示すること
対象範囲	オリエンタル白石株式会社 本支店、営業所、工場、各工事作業所
対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日(第64期事業年度)
対象分野	対象組織の環境活動
発行責任者	取締役 専務執行役員(安全・品質・環境担当) 大野 達也
担当部署	安全・品質・環境管理室
参考資料名	「環境報告ガイドライン(2012年版)」環境省 「はじめての環境報告書」社団法人 日本建設業団体連合会(2007年2月)

環境目標

当社では、『環境報告書2015』にて、環境情報の公開を行ないます。当社は経営理念である「人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団」の実現を目指して、環境活動の目的・目標を以下のように掲げます。

環境経営の推進に努め、環境保全への取り組みを積極的に情報公開することにより社会に対する説明責任と環境コミュニケーションを図ります

【目標】『環境報告書2015』による環境情報公開

工事施工段階におけるCO₂排出量の削減目標設定とその実現に向けての行動を展開します

【目標】日建連のCO₂排出量調査活動への参加によるデータ収集と蓄積

混合廃棄物の排出量削減により、最終処分量の削減を図ります

【目標】建設混合廃棄物の排出量を前年比10%削減

環境に配慮した技術開発に積極的に取り組みます

【目標】提案・受注による環境活動の実施

環境マネジメントシステム

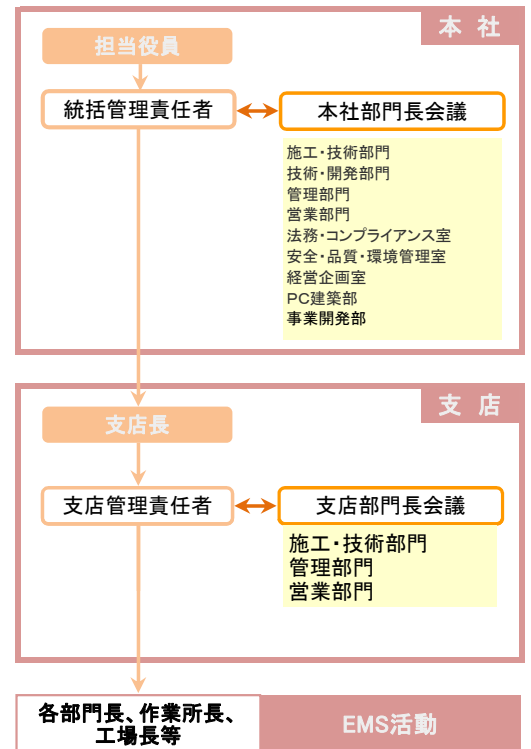
環境マネジメントシステムへの取り組み

当社は2002年から全社の事業活動を対象に環境マネジメントシステムを構築し運用しています。2005年4月からISO14001:2004（JISQ14001:2004）に基づく環境マネジメントシステムに再構築のうえ運用を開始し、2007年10月に合併による全面改訂を実施しました。

環境マネジメントシステムの組織体制

担当役員は、全社での環境保全活動を確実に実施し維持するために統括管理責任者を任命しています。全社的な活動の検討は、本社の関係部門長が参加する本社部門長会議にて実施しています。本社での検討結果は、統括管理責任者を通じて各支店長へ展開されます。

支店長は、支店での環境保全活動を確実に実施し、維持するために支店管理責任者を任命しています。支店での活動の検討は、支店の関係部門長が参加する支店部門長会議にて実施しています。支店での検討結果は、管理責任者を通じて各部門長等へ展開され、EMS活動が実施されます。



監査結果

2014年度に行われた内部監査は上期・下期の2回に分けて実施し、結果は右の通りです。注意事項等については全て改善又は是正処置が実施されました。

内部監査実施状況		
内部監査人員		137 人
内部監査実施	部門	113 箇所
	作業所	20 箇所
監査結果	不適合	0 件
	注意	0 件
	推奨	15 件

2014年度に行われた外部審査の結果は右のとおりです。不適合事項については全て改善又は是正処置が実施されました。

外部審査実施状況		
EMS第4回再認証審査	2015年1月19日～2015年1月26日	
再認証の承認日	2015年2月28日	
審査登録機関	一般財団法人 建材試験センター	
審査サイト	本社、東京・福岡各支店	
審査結果	重大な不適合	0 件
	軽微な不適合	3 件
	観察事項	10 件

法規制遵守 環境監視 測定実施状況

事業活動において遵守されなければならない環境法規制は多々あります。環境基本法に定めている「7大公害」及び廃棄物に関する法律が主なものです。

工事作業所では、遵守しなければならない環境法規制を工事着工前に特定し、必要な対策を検討し、実施しています。工場においても遵守しなければならない環境法規制を特定し、規制値をクリアするため管理値を定めて管理しています。



■ 工事現場における騒音対策

法律に定める特定建設作業における騒音、振動の抑制及び近隣への表示を行っています。



■ 工事現場における産業廃棄物の保管

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき産業廃棄物の保管を行っています。



■ 工場における排水測定

水質汚濁防止法に基づき排水時にpH調整を行い高アルカリ水の排出を抑制しています。定期測定の結果、3工場全てにおいて基準値を超える排出がないことを確認しました。



■ 工場におけるリサイクルシステム

コンクリートプラント、ホッパー等の洗いを砂利、砂、水、ケーキ（スラッジの圧搾かす）に分離して一部リサイクルに活用しています。